

令和6年6月5日

報 告 書

島田市議会議長 藤本 善男 様

島田市議会議員 大村 泰史
島田市議会議員 大石 節雄
島田市議会議員 井上 篤
島田市議会議員 四ツ谷 恵

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 令和6年5月25日（土）
午後1時30分～午後3時00分
- 2 会場 六合公民館 ロクティ 第1集会室
- 3 参加者数 20人（男性19人、女性1人）
- 4 役割
 - (1) 受付 全員
 - (2) 司会 大石
 - (3) 挨拶（概要） 大村
 - (4) 報告 厚生教育常任委員会 井上
経済建設常任委員会 大石
総務生活常任委員会 四ツ谷
 - (5) 答弁 全員
 - (6) 記録 四ツ谷

5 報告事項

(1) 議会活動の報告について

① 厚生教育常任委員会

2月は予算議会である。議会として2つの提言をした。

学校施設の老朽化に対する修繕費用の件では、増額要求し確保した。

安心安全な学校給食の提供の件では、物価高騰の中、国の臨時交付金を活用して価格を抑えている。来年度は未定。

重層的支援体制整備事業は、複合的な支援となる。今年度は包括的相談窓口の設置で、貧困、介護、障害者問題等、たらい回しにならないよう1つの窓口で対応できるようにする。

災害見舞金については、被害程度に応じて増額となった。

② 経済建設常任委員会

今年6月から森林環境税について、1人当たり年間1,000円が住民税に上乗せされて徴収される。森林整備に活用する。

プレミアム付き商品券事業は、国から島田市へ交付された支援金2億円のうち8,500万円を使って行う。4,000円購入すると5,000円分使えるという内容。今年の11月から来年1月までの期間とする。高齢者が利用しやすいよう丁寧な説明を当局へ要請する。

③ 総務生活常任委員会

シティプロモーション推進事業は、昨年同様7月に緑茶縁日を東京駅構内で実施する。島田のお茶をアピールしていく。

移住・定住促進事業では、島田市を紹介するため、動画等を発信している。YouTubeでの動画再生回数は138万回を超えた。移住につなげるよう期待している。

旧金谷中学校跡地活用事業は、事業者がトレーラーハウス事業を計画している。市は周辺の道路整備等を進めている。

④ 報告に対する質疑

Q ハコモノが次々とできているが、諸物価が上がる中で適正な判断か。固定資産税や介護保険が上がっているがどうなのか。

A 無駄なものには使わないよう、議会でしっかり審議して進めている。市民サービスとのバランスでいうと、全面的に反対はできない。島田市の介護保険料は、基金を取り崩しており、平均では近隣3市では安い方。市議会としては努力するが、国の方針でもある。また物価高騰に対する施策としてプレミアム商品券の発行も予定している。

Q 子育て世代は大型商業施設に出掛けてしまう。近隣でもいいが島田市にもほしい。

A 湯日にはグランピングがあるが、さらに旧金中跡地にトレーラーハウス事業を計画している。若い人から商業施設の要望があることは認識している。

(2) 意見及び情報の交換について

今回のテーマ「10年後の六合地区を考えよう」

【Aチーム】

① 交通問題

- ・高齢化の進行に伴い、高齢者の多くが車の免許を返納することとなる。その際の交通問題(交通手段の確保、地域の道路整備、東海道本線の踏切による交通障害等)が大きな課題だ。交通弱者にやさしい行政を。
- ・免許返納後シニアカー等の費用助成。
- ・六合地区を分断する踏切をなくす。
- ・歩道、自転車、自動車の分離。
- ・高齢者の交通手段を早急に考えてほしい。
- ・初倉から六合地区までの自転車道の整備も必要。

② 商店等まちづくり

- ・食事する店の誘致。岸地区のスーパー誘致。商店街と呼べる街並みがない。スーパーマーケットも遠く、買い物に不便なまち。移動販売車等の活用。
- ・六合地区に市が用地を確保・整備し、民間企業を誘致し、住民の利便性を向上させる施策が必要。

③ 下水道整備

- ・六合地区は島田市内の中で、下水道整備が遅れている。六合地区に下水処理施設を新設し、下水道の普及を。

④ 農地活用

- ・高校生の働く場所としての農地活用。農地や山林茶畑の耕作放棄地が懸念さ

れる。農業企業誘致を進める。

- ・茶畑の有効活用による茶業の振興。同時に農地転用をしやすくし、他業種への転換を促進する。

⑤ 自治会役員の問題

- ・高齢化により自治会役員の担い手の不足。役員手当の助成、補助の見直し。女性の参画を促す対策が必要。

⑥ 若者の就職の問題

- ・若い人の就職先が少ないため、若い人が島田市内から出ていく。
- ・市内にとどめる施策と戻ってもらう施策を検討し、総合計画に盛り込んでほしい。

【Bチーム】

① 防災問題

- ・六合地区の世帯数は増加傾向であるが、災害時の避難場所やトイレなど、災害発生時に住民が利用できるインフラ整備が遅れている。総合的な対応が必要である。学校側の理解と協力が必要。六合小学校、六合中学校で簡易トイレが不足している。避難所指定をもっと増やせないか(学校体育館では住民があふれる)。

② 都市計画について

- ・東町を居住誘導区域に設定してほしい。総合スポーツセンター(ローズアリーナの六合版)等、六合駅周辺の開発整備による地区の活性化策+商業地区の整備が必要。
- ・都市計画の再検討が必要ではないか。

③ くらし・生活関連

- ・子どもを生き育てやすい地域づくり。少子化・高齢者に対する取組が必要。

【Cチーム】

① インフラ整備

- ・子どもの遊び場、公園等の整備。
- ・散歩コースや広い公園がほしい。
- ・六合中学校の建て替え・整備が必要。
- ・六合駅周辺の街づくりの整備(店の誘致、憩いの場所ゾーン等)
- ・東光寺インターチェンジのフルインター化を要望する。
- ・文化的継承(大津屋川の桜風景、東光寺の猿舞、東町の増田五郎右衛門)

② 福祉関係

- ・老人介護環境の整備。施設が不足している。
- ・民生委員が少ないため住民が不安を感じている。

③ 労働力について

- ・若い人が地元で就職したら、税で優遇する体制をつくる。
- ・地元での生活が経済的に有利であることを実感できるまちづくり。
- ・企業誘致で若い世代が魅力を感じるまちに。

6 まとめ（所見）

「10年後の六合地区を考えよう」のテーマは、インフラ整備と若者が移住しやすい地域に発展することを期待しているようだ。どの地域も抱えている老後の問題にも不安な気持ちを言及していた。参加者は役員をしている方が多く、六合地区全体をよく認識している。貴重な意見として受け取った。